

令和8年度 科学と人間生活 年間計画							
レポート							
学習の到達目標		<p>○自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>○観察,実験などを行い,人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり,科学的に探究しようとする態度を養うとともに,科学に対する興味・関心を高める。</p>					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
身近な事物・現象に関する事物・現象について理解している。		身近な事物・現象に関する事物・現象について,科学的に考察し表現しているなど,科学的に探究している。		身近な事物・現象に関する事物・現象に進んで関わり,見通しをもったり振り返ったりするなど,科学的に探究しようとしている。			
単元	レポート	学習項目	学習内容			スクーリング回数	
			教科書	NHK講座	平日	日曜	
第1編 生命の科学	レポート1	ヒトの生命現象	1 視覚とは何か	「科学と人間生活」 第4回講座 視覚	1	1	
			2 眼の構造とはたらき				
			3 眼の構造とはたらき				
			4 血糖とは何か	「科学と人間生活」 第5回講座 病との闘い	2	2	
			5 血糖濃度の調節				
			6 感染症から体を守るしくみ				
			7 免疫のしくみと日常生活	「科学と人間生活」 第6回講座 遺伝子とは…	3	3	
	1 遺伝子とDNA						
	2 DNAの遺伝情報からタンパク質へ						
	第2編 物質の科学	レポート2	材料とその再利用	3 体内ではたらくタンパク質	「科学と人間生活」 第7回講座 リサイクル	4	4
4 資源の再利用と3R							
5 金属の性質							
レポート3		材料とその再利用	6 異なる金属の区別	「科学と人間生活」 第9回講座 プラスチックの科学	5	5	
			1 プラスチックの性質と分類				
			2 プラスチックの分類				
			3 プラスチックの合成	「科学と人間生活」 第8回講座 スマートフォンのメカニズム	6	6	
			4 さまざまな機能をもつプラスチック				
			5 プラスチックと金属の再生利用				
〈レポート提出目標〉		レポート1通目…5月下旬	レポート2通目…6月下旬				
		レポート3通目…7月下旬	レポート4通目…10月下旬				
		レポート5通目…11月下旬	レポート6通目…12月中旬				

レポート							
学習の到達目標		<p>○自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>○観察,実験などを行い,人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり,科学的に探究しようとする態度を養うとともに,科学に対する興味・関心を高める。</p>					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
身近な事物・現象に関する事物・現象について理解している。		身近な事物・現象に関する事物・現象について,科学的に考察し表現しているなど,科学的に探究している。		身近な事物・現象に関する事物・現象に進んで関わり,見通しをもったり振り返ったりするなど,科学的に探究しようとしている。			
単元	レポート	学習項目	学習内容			スクーリング回数	
			教科書	NHK講座	平日	日曜	
第3編 光や熱の科学	レポート4	電磁波とその利用	1 光の進み方とその見え方	「科学と人間生活」第12回講座 テレビ技術の発展	10	7	
			2 光の波としての性質 ①				
			3 光の波としての性質 ①				
			4 光の波としての性質 ②		11	8	
			5 さまざまなスペクトル				
			6 光の3原色と色				
第4編 宇宙や地球の科学	レポート5	自然景観と自然災害	1 電磁波の利用 ①	「科学と人間生活」第13回講座 自動運転のしくみ	13	9	
			2 電磁波の利用 ②				
	3 移り変わる地球の景観		「科学と人間生活」第18回講座 太陽が動かす大気と水	14	10		
	4 山地や低地のでき方						
	5 火山がつくる景観		「科学と人間生活」第19回講座 世界の絶景ポイント	15	11		
	6 太陽のエネルギーがつくる景観						
	レポート6		1 地震による災害	「科学と人間生活」第20回講座 地震と津波	16	12	
			2 火山による災害				
			3 気象災害・土砂災害と防災				
			4 自然災害との付き合い方	17			
	5 課題研究		18				

〈レポート提出目標〉 レポート1通目…5月下旬                      レポート2通目…6月下旬  
 レポート3通目…7月下旬                      レポート4通目…10月下旬  
 レポート5通目…11月下旬                      レポート6通目…12月中旬

## 指導と評価の年間計画（物理基礎）

学習の到達目標	物理や物理現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを通して、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。							
評価の観点								
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
身近な物理や物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また観察、実験を通して、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、身近な物理や物理現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		身近な物理や物理現象の中に問題を見だし、探究する過程を整理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		身近な物理や物理現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。				
単元	レポート			NHK 高校 講座	スクーリング			
	回	学習項目	学習内容		平日	日曜		
1編 物体の運動とエネルギー	1章 直線運動の世界	1	速さ・速度・等速直線運動	運動の表し方、速さ、速度および等速度運動のグラフについて学ぶ	第1～2回	1	1	
		2	相対速度・加速度	相対速度及び加速度について学ぶ	第3～4回	2		
		3	等加速度直線運動	運動を表す式、等加速度直線運動とそのグラフについて学ぶ		3		2
	2章 力の法則と運動	2	1	落下運動	自由落下、鉛直投げ上げ、放物運動について学ぶ	第5～9回	4	4
			2	力のつりあい、合成、分解	力、力のつりあい、力の合成・分解について学ぶ		5	
			3	運動の3法則	ニュートンの運動の3法則について学ぶ	第10～12回	6	
	3章 力学的エネルギー	3	1	摩擦力、浮力	動摩擦力と静止摩擦力、浮力について学ぶ	第13～18回	7	5
			2	仕事と仕事率、エネルギー	仕事、仕事率、位置エネルギー、ばねの弾性エネルギー、運動エネルギーについて学ぶ		8	
			3	力学的エネルギーとその保存	仕事とエネルギーの関係、力学的エネルギーとその保存について学ぶ	第18～19回	9	
2編 さまざまな物理現象とエネルギー	1章 熱	4	1	熱と温度・物質の三態	温度と熱運動と物質の三態について学ぶ	第20～23回	10	7
			2	熱の移動と保存、熱と仕事	熱の移動、熱と仕事とエネルギーの変換について学ぶ			
	2章 波	4	3	波の伝わり方・波の性質	波の伝わり方・表し方について学ぶ	第24～29回	11	8
			4	波の伝わり方・波の表し方、音	波の伝わり方・表し方、波の重ねあわせと反射、定常波について学ぶ。音について学ぶ。		12	
	3章 電気	5	1	電流と電気抵抗	電流とオームの法則について学ぶ	第30～31回	13	10
			2	直列接続と並列接続	電流の流れにくさと抵抗の接続について学ぶ		14	
			3	電力と電力量	電力と電力量について学ぶ	第32回	15	
	4章 エネルギーとその利用	6	1	電流がつくる磁界	電流が作る磁界について学ぶ	第33～34回	16	11
2			発電機のしくみ	電流が磁界から受ける力と電磁誘導について学ぶ	17			
3			直流と交流・電磁波	直流と交流について学ぶ	第35～40回	18	12	
4	放射線と原子力エネルギー	エネルギーの変換とエネルギー保存の法則について学ぶ						
レポート提出目標								
第1回：5月下旬／第2回：6月下旬／第3回：7月下旬								
第4回：10月下旬／第5回：11月下旬／第6回：12月中旬（締切：12月23日）								

## 令和8年度 物理 年間計画

### 学習の到達目標

物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

### 評価の観点

#### 知識・技能

物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。

#### 思考・判断・表現

物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

#### 主体的に学習に取り組む態度

物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元	レポート		学習内容と対応したコンテンツ	スクーリング		
	回	学習内容		平日	日曜	
1編 さまざまな運動	レポート1	1 平面内の運動	修悠館マイページ レポート1_解説資料 レポート2_解説資料	1	1	
		2 剛体のつり合い		2	2	
	レポート2	3 運動量		3	3	
		4 円運動				
	レポート3	1 単振動		修悠館マイページ レポート3_解説資料 レポート4_解説資料	5	4
		2 万有引力			6	5
レポート4	3 気体の分子運動	7	6			
2編 波	レポート5	1 波の伝わり方	9		7	
		2 音	10		8	
	レポート6	3 光	11		9	
3編 電気と磁気	レポート7	1 電場と電位	修悠館マイページ レポート7_解説資料 レポート8_解説資料	13	10	
		2 コンデンサー		14	11	
	レポート8	3 電流		15	12	
	レポート9	1 電流と磁場		17	13	
		2 電磁誘導		18	14	
レポート10	3 交流	19	15			
4編 原子	レポート11	1 電子	修悠館マイページ レポート11_解説資料 レポート12_解説資料	21	16	
		2 波動性と粒子性		22	17	
	レポート12	3 原子と原子核		23	18	

# 令和8年度 年間指導計画（化学基礎）

## レポ ー ト

### 学習の到達目標

- 化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
- 原子の構造および電子配置と周期律の関係を理解できる。
- 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応および酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。

### 評価の観点

#### 知識・技能

#### 思考・判断・表現

#### 主体的に学習に取り組む態度

○自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。  
○自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

○自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。

○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

単元	回	学習内容	NHK講座	スクーリング		
				平日	日曜	
1 編 物質の構成	1	1 化学とは何か	「化学基礎」 第1～9回講座	1	1	
		2 物質の成分と構成元素		2		
3 原子の構造と元素の周期表		3		2		
2	2	1 イオンとイオン結合	「化学基礎」 第10～17回講座	4	3	
		2 分子と共有結合		5		
		3 金属と金属結合		6	4	
2 編 物質の変化	3	1 原子量・分子量・式量	「化学基礎」 第18～21回講座	7	5	
		2 物質量		8		
		3 溶液の濃度		9	6	
	4	4	1 化学反応式の表し方	「化学基礎」 第22～26回講座	10	7
			2 化学反応式の表す量的関係		11	
			3 酸と塩基		12	8
	5	5	1 水素イオン濃度とpH	「化学基礎」 第27～32回講座	13	9
			2 中和反応と塩の生成		14	
			3 中和滴定		15	10
	6	6	1 酸化と還元	「化学基礎」 第33～38回講座	16	11
			2 酸化剤と還元剤		17	
			3 金属の酸化還元反応		18	12

〈レポート提出目標〉

第1回・・・5月下旬

第2回・・・6月下旬

第3回・・・7月下旬

第4回・・・10月下旬

第5回・・・11月下旬

第6回・・・12月下旬（※締切期限を確認しましょう）

# 令和8年度 年間計画（化学）

レポ ー ト		
<b>学習の到達目標</b>	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や事象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的にとらえ日常生活とのかかわりについて理解を深める。	
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学的な事物・現象に関する概念や原理・法則を理解し、観察・実験の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する知識・技能を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

単元	レポ ー ト	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	外部コンテンツ	スクーリング	
						平日	日曜
物質 の 状 態	1	物質の状態と変化	1-1 分子間力と融点・沸点	レポート1	※修悠館マイページ を見てください。	1	1
		気体の性質	1-2 気体の性質① 1-3 気体の性質②			2	
		溶液の性質	1-4 物質の溶解			3	2
	2	固体の構造	2-1 希薄溶液の性質 2-2 コロイド	レポート2	※修悠館マイページ を見てください。	4	3
		日常生活と化学	2-3 金属結晶の構造 2-4 圧力と調理・加工			5	4
		化学反応と熱・光	3-1 化学変化と熱の出入り 3-2 反応エンタルピーの種類 3-3 ヘスの法則 3-4 結合エンタルピー			6	5
エ ネ ル ギ ー と	3	電池と電気分解	4-1 電池	レポート3	※修悠館マイページ を見てください。	7	6
			4-2 実用電池			8	7
	4	電池と電気分解	4-3 電気分解における反応	レポート4	※修悠館マイページ を見てください。	9	8
			4-4 電気分解の法則			10	9
速 化 学 と 反 応 の 平 衡	5	化学反応の速さ	5-1 反応速度 5-2 反応のしくみ	レポート5	※修悠館マイページ を見てください。	11	8
		化学平衡	5-3 可逆反応と化学平衡 5-4 平衡の移動			12	
	6	電解質水溶液の平衡	6-1 電離平衡	レポート6	※修悠館マイページ を見てください。	1	10
			6-2 水の電離平衡とpH			2	11
			6-3 塩と化学平衡			3	12
			6-4 化学と進路			4	1

<レポート提出目標> レポート1通目…5月中旬  
 レポート3通目…6月中旬  
 レポート5通目…7月中旬

レポート2通目…5月下旬～6月初旬  
 レポート4通目…6月下旬～7月初旬  
 レポート6通目…7月下旬～8月5日

# 令和8年度 年間計画（化学）

レポ ー ト		
<b>学習の到達目標</b>	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や事象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的にとらえ日常生活とのかかわりについて理解を深める。	
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学的な事物・現象に関する概念や原理・法則を理解し、観察・実験の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する知識・技能を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

単元	レポ ー ト	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	外部コンテンツ	スクーリング				
						平日	日曜			
無機物質	7	周期表と元素	7-1 周期表と元素	レポート7	※修悠館マイページを見てください。	13	10			
		非金属元素	7-2 ハロゲン					レポート8	※修悠館マイページを見てください。	14
			7-3 硫黄			15	12			
			7-4 窒素・リン 7-5 炭素・ケイ素							16
		8	8			金属元素	8-1 アルカリ金属	レポート8	※修悠館マイページを見てください。	15
8-2 2族元素										
8-3 アルミニウム										
8-4 遷移金属										
8-5 金属イオンの分離と確認										
有機物質	9	有機化合物の基礎	9-1 有機化合物の特徴と構造	レポート9	※修悠館マイページを見てください。	17	13			
		脂肪族化合物	9-2 脂肪族炭化水素					レポート10	※修悠館マイページを見てください。	18
			9-3 アルコールとエーテル							
			9-4 アルデヒドとケトン							
			9-5 カルボン酸とエステル							
	10	10	芳香族化合物	10-1 芳香族炭化水素	レポート10	※修悠館マイページを見てください。	19	15		
				10-2 フェノール類					20	
				10-3 芳香族カルボン酸						
				10-4 窒素を含む芳香族化合物						
高分子化合物	11	天然高分子化合物	11-1 高分子化合物の分類と特徴	レポート11	※修悠館マイページを見てください。	21	16			
			11-2 糖類					22	17	
			11-3 アミノ酸							
			11-4 タンパク質							
	12	12	合成高分子化合物	12-1 合成繊維	レポート12	※修悠館マイページを見てください。	23	18		
				12-2 プラスチック						
				12-3 ゴム						
			日常生活と化学	12-4 高分子化合物と人間生活			24			

<レポート提出目標> レポート 7通目…10月上旬

レポート 9通目…11月上旬

レポート11通目…12月初旬

レポート 8通目…10月中旬

レポート10通目…11月中旬

レポート12通目…12月中旬～12月23日

令和8年度 生物基礎 年間計画

学習の到達目標		生物や生命現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを通して、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				
評価の観点						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
身近な生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験を通して、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、身近な生物や生命現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		身近な生物や生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		身近な生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。		
単元	レポート			学習内容と対応したコンテンツ		
	通	学習項目	学習内容	NHK高校講座「生物基礎」		
第1部 生物の特徴	1	1 生物の共通性と多様性	生物の構造の共通性と多様性について学ぶ	第1～3回	1	
		2 細胞の構造と共通性と多様性	生物共通の単位である細胞について学ぶ	第4回	2	
		3 細胞とエネルギー	生命活動とエネルギーについて学ぶ	第5～8回	3	
第2部 遺伝子とその働き	2	1 遺伝子とゲノム	遺伝子、染色体、ゲノムについて学ぶ	第9回	4	
		2 DNAの構造	DNAの構造について学ぶ	第10回	5	
		3 遺伝情報の分配	遺伝情報の複製・分配について学ぶ	第11回	6	
3	1 タンパク質	タンパク質と遺伝情報について学ぶ	第12回	7	5	
	2 遺伝情報とRNA	RNAの構造と働きについて学ぶ	第13、14回	8	6	
	3 遺伝情報の発現とタンパク質の合成	遺伝情報の発現の大原則について学ぶ	第13～16回	9		
第3部 生物の体内環境の維持	4	1 恒常性	体液とその働きについて学ぶ	第17回	10	7
		2 自律神経・内分泌系による調節	自律神経系・ホルモンによる調節について学ぶ	第18～20回	11	8
		3 血糖濃度の調節	血糖濃度を調節するしくみについて学ぶ	第21回	12	
5	1 免疫のしくみ	免疫にかかわる細胞について学ぶ	第23～24回	13	9	
	2 免疫の応用	体液性免疫・細胞性免疫について学ぶ	第25回	14	10	
	3 免疫とさまざまな疾患	アレルギー、AIDSなどの疾患について学ぶ	第26～27回	15		
第4部 多様性と生態系	6	1 植生の多様性と分布	植生、遷移、バイオームについて学ぶ	第28～36回	16	11
		2 生態系とその保全	生態系について学ぶ	第37～39回	17	12
		3 科学の探究	テーマを決め、科学の探究を行う	40回	18	

提出目標 第1回…5月下旬 第2回…6月下旬 第3回…7月下旬  
第4回…10月中旬頃 第5回…11月中旬頃 第6回…12月中旬頃

# 令和8年度 生物 年間計画

<b>学習の到達目標</b>	生物や生命現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを通して、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
評価の観点	
知識・技能	思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度	
身近な生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則の知識を身に付けている。観察、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、身近な生物や生命現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	身近な生物や生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
身近な生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	

		レポート				スクーリング			
単元	通数	学習項目	学習内容			平日	日曜		
			教科書の内容	外部学習コンテンツ	ITコンテンツ				
第1編 生物の進化	1 <small>提出目標 6月上旬</small>	1 生命の起源と変遷	1 生命の起源と細胞の進化	詳細は マイページへ	外部学習 コンテンツ	ITコンテンツ	レポート1	1	1
		2 進化とその仕組み	2 遺伝子の変化と進化のしくみ				2	2	
		3 生物界の変遷と人類の起源	3 生物の系統と進化				3	3	
第2編 生命現象と物質	2 <small>提出目標 6月下旬</small>	1 生体物質と細胞	1 細胞と物質				レポート3	5	4
		2 代謝とエネルギー	2 生命活動の中心的な役割を果たすタンパク質				6	5	
第3編 遺伝情報の発現と発生	3 <small>提出目標 7月下旬</small>	1 遺伝子情報とその発現	1 DNAの構造と転写				レポート4	7	5
		2 発生と遺伝子発現	2 転写と翻訳				8	6	
第4編 生物の環境応答	4 <small>提出目標 10月下旬</small>	1 遺伝子を扱う技術	1 遺伝子の増幅と組換え				レポート5	9	7
		2 動物の刺激の受容と反応	2 ニューロンと興奮の伝導・伝達				10	8	
第5編 生態と環境	5 <small>提出目標 11月下旬</small>	1 動物の行動	3 刺激の受容と感覚				レポート6	11	8
		2 植物の環境応答	4 動物の発生	12	9				
第6編 生態系と環境	6 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動	4 中枢神経と効果器	レポート7	13	10			
		2 植物の環境応答	1 刺激の受容と行動	14	11				
第7編 生態系と環境	7 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動	2 学習のしくみ	レポート8	15	12			
		2 植物の環境応答	3 被子植物の生殖と発生	16	13				
第8編 生態系と環境	8 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動	4 植物ホルモン	レポート9	17	14			
		2 植物の環境応答	1 生物の個体群とその変動	18	15				
第9編 生態系と環境	9 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動	2 種内関係	レポート10	19	16			
		2 植物の環境応答	3 種間関係	20	17				
第10編 生態系と環境	10 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動	4 生態系と物質生産・生物の多様性 研究テーマを決め、探求活動	レポート11	21	18			
		2 植物の環境応答		22	17				
第11編 生態系と環境	11 <small>提出目標 12月中旬</small>	1 動物の行動		レポート12	23	17			
		2 植物の環境応答		24	18				

# 令和8年度 地学基礎 年間計画

学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>					
		評価の観点					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。		地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、野外観察、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書の作成や発表を通して、何が分かるようになったかを表現することができる。		地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。			
No.	単元	学習項目	学習内容	解説資料	NHK 高校講座	スクーリング	
						平日	日曜
1	私たちの大地	大地とその動き 地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の形と大きさ</li> <li>・地球の構造</li> <li>・地球内部の動きとプレート</li> <li>・大地形の形成と地質構造</li> <li>・地震の発生</li> <li>・地震が起こる場所</li> <li>・地震による災害と防災</li> </ul>	レポート1	第1～4回 第9～10回	1 2 3	1 2
2	私たちの大地	火山活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火山噴火の多様性</li> <li>・火山の噴火とその形</li> <li>・火山の分布とマグマの発生</li> <li>・火山による災害と防災</li> <li>・火成岩</li> <li>・変成岩と変成作用</li> </ul>	レポート2	第5～8回	4 5 6	3 4
3	私たちの空と海	地球大気 の構造 大気の特徴とその運動 海水の特徴とその運動 日本の天気と気象災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球大気 の構造</li> <li>・地球の大気 で起こる現象</li> <li>・地球の熱収支</li> <li>・大気や海水 の運動の原因</li> <li>・大気の大循環</li> <li>・海水とその運動</li> <li>・大気と海洋 の相互作用</li> </ul>	レポート3	第11～16 回	7 8 9	5 6
4	私たちの宇宙の誕生	宇宙の構造と進化 太陽系の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の誕生と宇宙の姿</li> <li>・太陽系の誕生</li> <li>・太陽系の構成</li> <li>・太陽の特徴</li> <li>・地球の特徴</li> </ul>	レポート4	第17～24 回	10 11 12	7 8
5	私たちの地球の歴史	地層と化石の観察 古生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地層の形成</li> <li>・地層からわかる情報</li> <li>・地球史の最初期</li> <li>・先カンブリア時代</li> <li>・古生代</li> <li>・中生代</li> <li>・新生代</li> <li>・人類の進化</li> <li>・地球環境の変化による生物の変遷</li> </ul>	レポート5	第25～32 回	13 14 15	9 10
6	地球に生きる私たち	日本の自然の恵みと防災 地球環境と私たちの生活 これからの地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境の特徴</li> <li>・日本の自然の恵み</li> <li>・地球環境の考え方</li> <li>・自然環境の変化</li> <li>・人間活動がもたらす自然環境の変化</li> <li>・世界の取り組み</li> </ul>	レポート6	第33～40 回	16 17 18	11 12

## 令和8年度 地学 年間計画

<b>学習の到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の形状や内部構造を観察、実験などを通して探究し、地球の概観を理解する。</li> <li>・地球に見られる様々な事象・現象を観察、実験などを通して探究し、地球の活動と歴史を理解する。</li> <li>・地球の大気と海洋の事象・現象を観察、実験などを通して探究し、大気と海洋の構造や運動を理解する。</li> <li>・宇宙に関する事象・現象を観察、実験などを通して探究し、宇宙の構造について理解する。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>
地学的な事象・現象に関する観察、実験などを行い、操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学的な事象・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
地学的な事象・現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事象・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	

レポート				スクーリング					
単元	通数	学習項目	学習内容						
			教科書の内容	外部学習 コンテンツ	IT コンテンツ	日曜	平日		
固体地球の概観と活動	1	1 地球の概観	1. 重力で探る地球の内部 2. 地震波で探る地球の内部 3. 熱で探る地球の内部 4. 地磁気で探る地球の内部	詳細はマイページへ	1	1	1		
	2	2 プレートテクトニクス	1. 地球表面を覆うプレート 2. プレートテクトニクスの成立 3. プルームテクトニクスとマントルの動き		2	2	2		
					3	3	3		
3	3 地球の活動	1. 地震 2. 地殻変動 3. 火山と火成活動 4. 造山帯と変成作用	3		4	4	5		
地球の歴史	4	4 地表の変化と地層	1. 地表の変化と堆積物 2. 地層の連続とその分布		詳細はマイページへ	4	5	5	
							6	6	6
	5	5 地表の変化と地層 地球・生命・環境の歴史	1. 地質年代の組み立て 2. 地殻の進化 3. 生命の進化 4. 長期の気候変動			5	7	7	9
	6	6 私たちの日本列島	1. 日本列島 2. 日本列島の歴史			6	8	8	10
						9	9	11	12
	大気と海洋	7	7 大気圏の構造 大気運動			1. 大気圏 2. 雨と雲 3. 地球のエネルギー収支 4. 風 5. 大気の大循環と世界の気象 6. 偏西風帯に位置する日本の四季	詳細はマイページへ	7	10
8		8 海洋と海水の運動 気候変動と地球環境	1. 海洋 2. 海水の運動 3. 気候変動 4. 物質の循環 5. 人間活動と地球環境		8	11			14
宇宙の構造	9	9 惑星の運動	1. 地球の運動 2. 惑星の運動		詳細はマイページへ	9	12	16	
				13			17	18	
	10	10 太陽系の天体	1. 太陽系の天体 2. 太陽	10		14	19		
				15		15	20		
	11	11 恒星の性質と進化	1. 恒星の光 2. 恒星の性質とHR図 3. 恒星の誕生と進化	11		16	21		
12	12 銀河系と宇宙	1. 銀河系 2. 銀河と宇宙 3. 膨張する宇宙	17		22	23			
12	12 銀河系と宇宙	1. 銀河系 2. 銀河と宇宙 3. 膨張する宇宙	12	18	18	24			

レポート提出目標

第1回 5月中旬 第2回 5月下旬 第3回 6月中旬 第4回 6月下旬 第5回 7月中旬 第6回 7月下旬  
第7回 10月上旬 第8回 10月中旬 第9回 11月上旬 第10回 11月中旬 第11回 12月上旬 第12回 12月中旬